

4. 福岡市を取り巻く状況

1. 社会・経済の状況

(1) 人口・世帯数

- 福岡市の人口は、1989(明治22)年の市制施行当時には約5万人でしたが、その後、市域の拡大や都市化の進展に伴って自然的・社会的に増加し、2013(平成25)年5月には150万人を突破しました。最近5年間の人口増加は年間1万2千人～1万6千人で、増加率は年0.8～1.1%程度です。
- 総世帯数も年々増加しており、2014(平成26)年現在で約74.8万世帯となりました。

【市域と人口の推移】

年	世帯数	人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)	備考
明治22年	9,440	50,847	5.09	9,990	市制施行
昭和60年	433,348	1,160,440	33,682	3,445	第14回国勢調査
最近5年間の推移					
平成22年	707,358	1,463,743	341.32	4,288	第19回国勢調査
平成23年	720,396	1,479,433	341.70	4,330	10月1日現在推計人口
平成24年	730,852	1,492,254	341.70	4,367	10月1日現在推計人口
平成25年	743,314	1,506,313	341.70	4,408	10月1日現在推計人口
平成26年	747,776	1,510,566	341.70	4,421	4月1日現在推計人口

【行政区別人口(平成26年4月1日推計人口)】

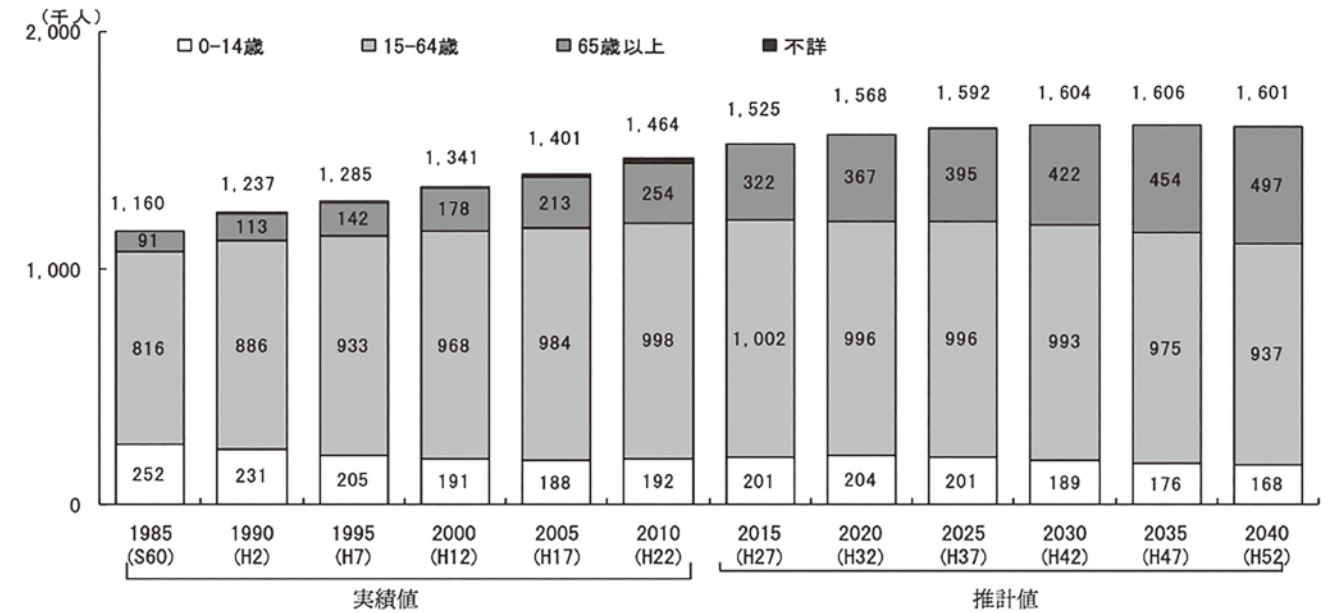
区分	福岡市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
世帯数	747,776	140,502	133,496	114,307	118,002	63,844	93,596	84,029
人口(人)	1,510,566	301,062	223,013	188,369	252,984	129,286	214,584	201,268
1世帯あたり人員(人)	2.02	2.14	1.67	1.65	2.14	2.03	2.29	2.40
面積(km ²)	341.70	68.36	31.47	15.16	30.98	16.02	95.88	83.83
人口密度(人/km ²)	4,421	4,404	7,087	12,425	8,166	8,070	2,238	2,401

- 福岡市の人口は、転入超過による社会増が続くことなどから、2035年(平成47年)頃まで約20年の間、増加が見込まれ、2030年(平成42年)には160万人を超える見込みです。
- 世帯数も一貫して増加が続き、2020(平成32)年頃には、単独世帯数が2人以上世帯数を超え、特に高齢者の単独世帯数の増加が顕著となる見込みです。

○ 世界人口は、2011(平成23)年10月、70億人を突破しました。「世界の統計2014」(総務省)によると、世界人口は2050(平成62)年に95.5億人に達すると予想されています。

○ 日本の人口は、2013(平成25)年に1億2,700万人ですが、2050(平成62)年には9,700万人になることが予測されており、約40年間で約3,000万人、約23.7%減少することになります。また、「平成25年版 高齢社会白書」(内閣府)によると、日本の高齢化率(65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合)は、2015(平成27)年から2050(平成62)年にかけて、26.8%から38.8%へと約1.4倍に増加すると推計されています。

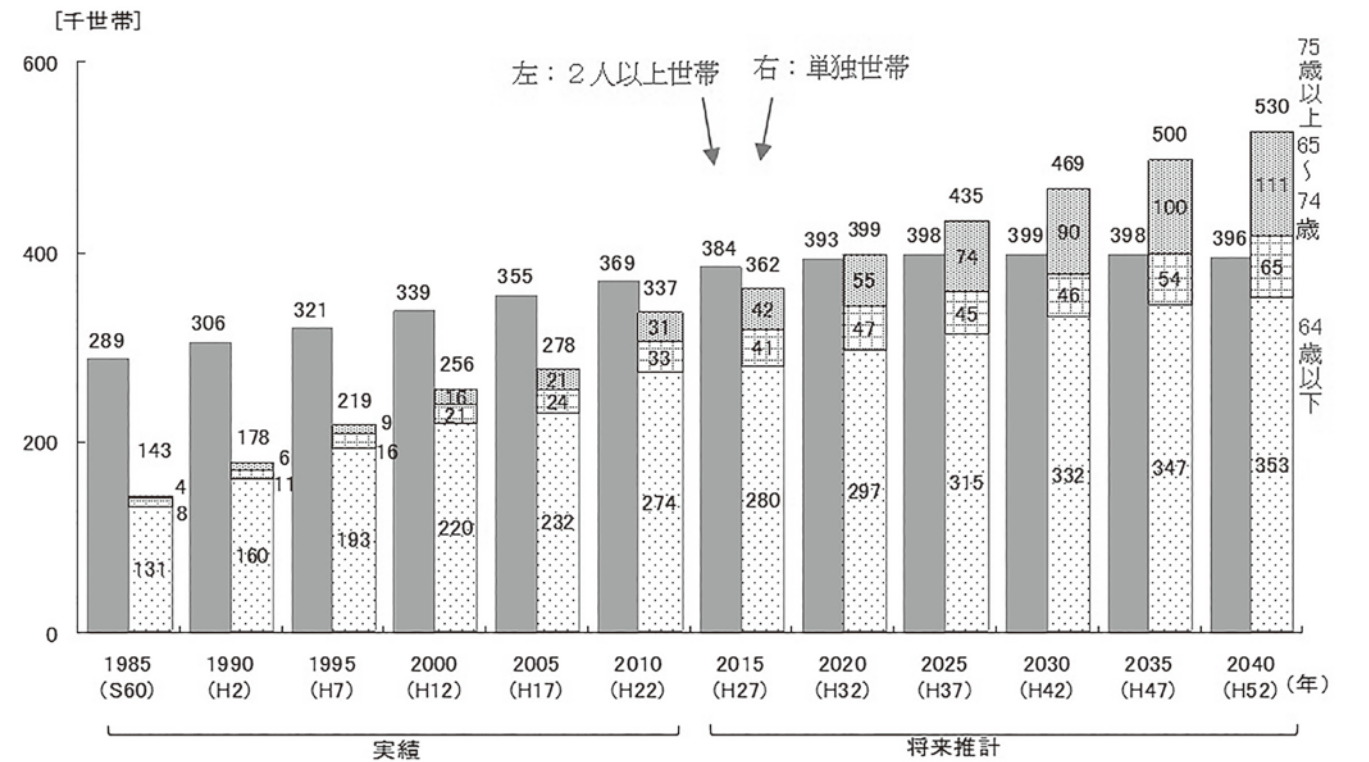
【福岡市の年齢階層別人口実績と推計】



(注) 図中、年齢不詳人口の数値は記載を省いている。また、()内は年齢不詳を除く構成比とした。
資料：実績値…総務省「国勢調査」

出典：「福岡市の将来人口推計」(2012(平成24)年、福岡市)

【福岡市の2人以上世帯数と単独世帯数の推移】



資料：実績…国勢調査

(2)経済

●福岡市の市内総生産(生産側)は、卸売・小売業や製造業が増加したことなどにより、名目値は、対前年度増加率(名目経済成長率)3.8%増の6兆7,789億円となり、プラス成長に転じました。さらに、物価変動の影響を取り除いた実質値では、対前年度増加率(実質経済成長率)4.4%増の6兆9,971億円となり、2年連続のプラス成長となっています。

市民所得は、企業所得の増加などにより、対前年度増加率5.5%増の4兆7909億円となりました。

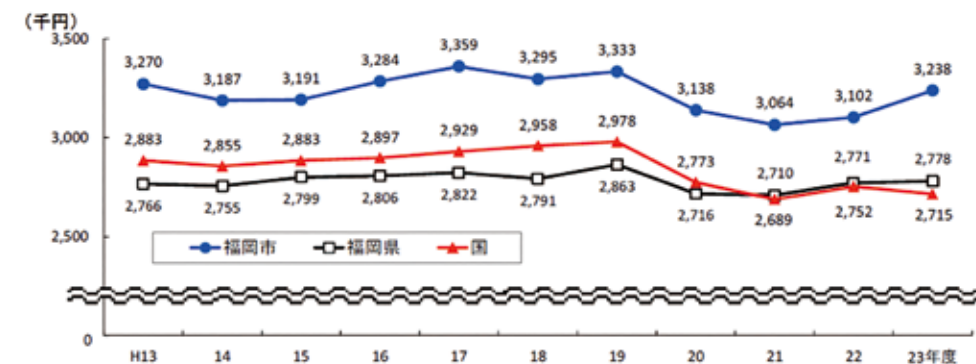
【市内総生産(名目・実質)と市民所得】

項目	実数(億円)			対前年度増加率(%)		
	21年度	22年度	23年度	21年度	22年度	23年度
市内総生産(名目)	65,605	65,336	67,789	△3.4	△0.4	3.8
市内総生産(実質:連鎖方式)	66,472	67,017	69,971	△2.5	0.8	4.4
市民所得	44,500	45,402	47,909	△1.4	2.0	5.5

出典:「平成23年度福岡市民経済計算」(2014(平成26)年、福岡市)

●一人あたり市民所得は、一人あたり国民所得を上回っており、2009(平成21)年度まで下落傾向にあったものの、その後、2年連続で増加しています。

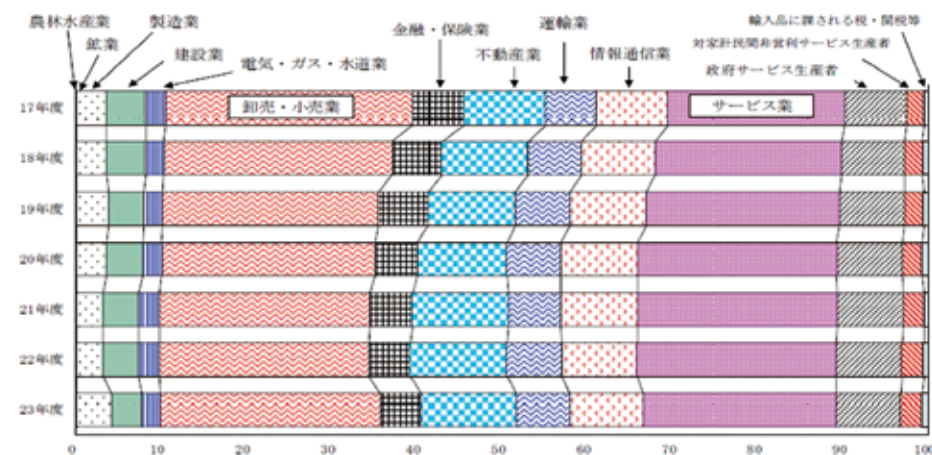
【1人あたり市民所得の推移】



出典:「平成23年度福岡市民経済計算」(2014(平成26)年、福岡市)

●「平成23年度福岡市民経済計算」によると、福岡市の産業構造は、サービス業が22.7%、卸売業・小売業が25.8%となっており、これらが2大基幹産業であることがわかります。

【市内総生産(名目)産業別構成比の推移】



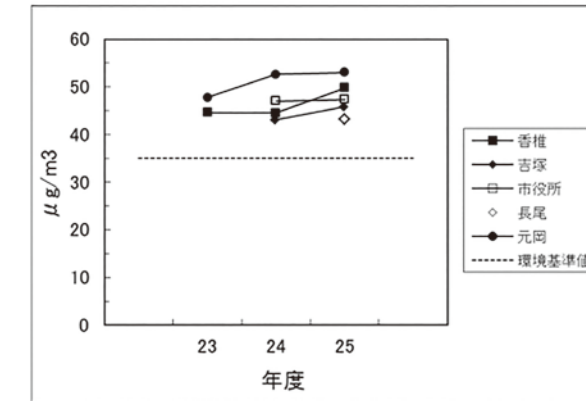
出典:「平成23年度福岡市民経済計算」(2014(平成26)年、福岡市)

2. 大気・水・音環境等の状況

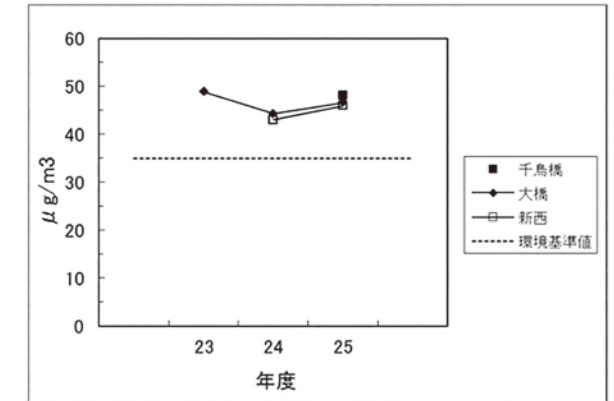
(1)大気環境

①微小粒子状物質

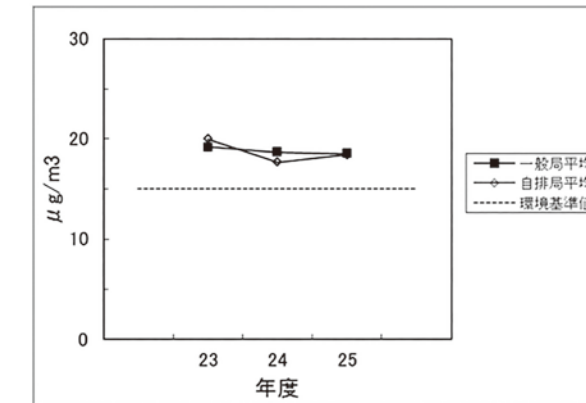
【日平均値の98%値の推移(一般局)】



【日平均値の98%値の推移(自排局)】



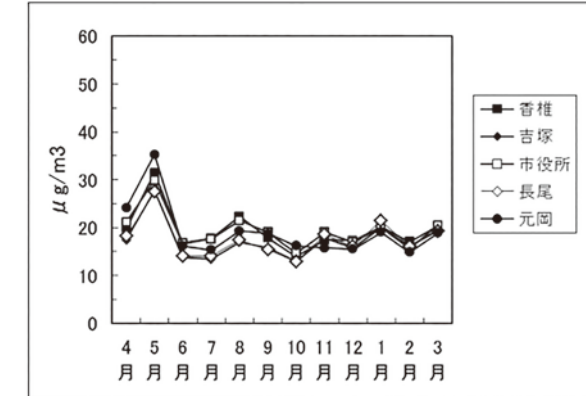
【年平均値の推移(一般局、自排局)】



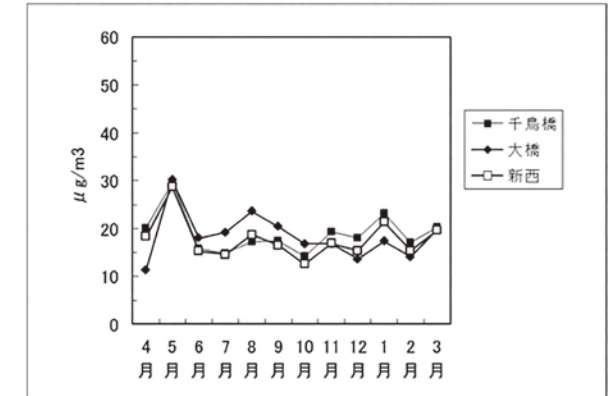
<環境基準の評価>

以下の2つの条件を満たしている場合
環境基準「達成」
①年間の平均値が環境基準値を超えていない。
②1年間の日平均値のうち、低い方から98%の範囲にある日平均値(日平均値の98%値)のうち一番高い値が環境基準値を超えていない。

【平成25年度の月平均値の推移(一般局)】

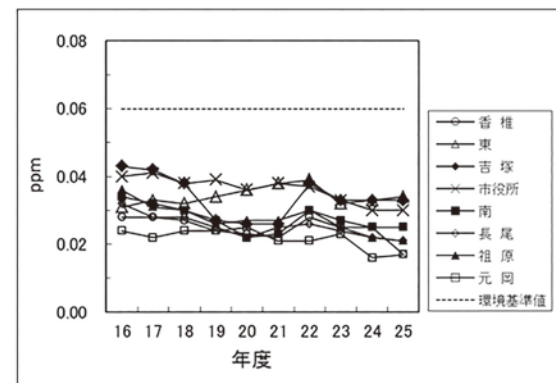


【平成25年度の月平均値の推移(自排局)】

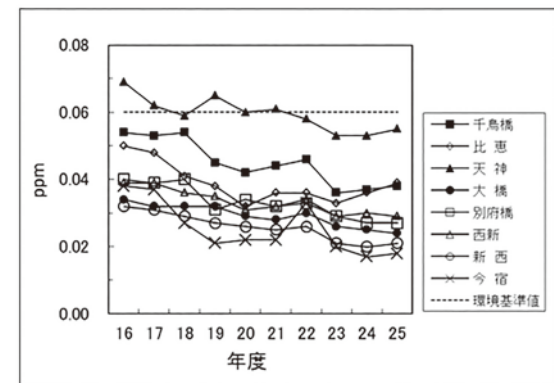


② 二酸化窒素

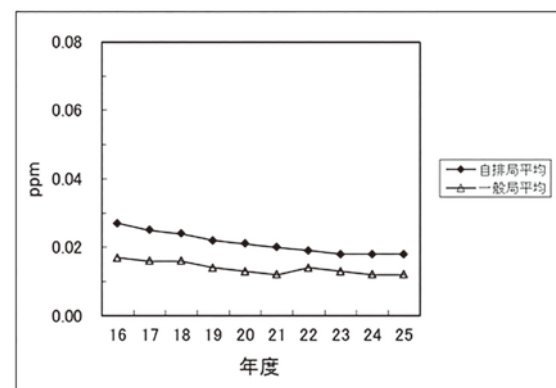
【日平均値の98%値の推移(一般局)】



【日平均値の98%値の推移(自排局)】



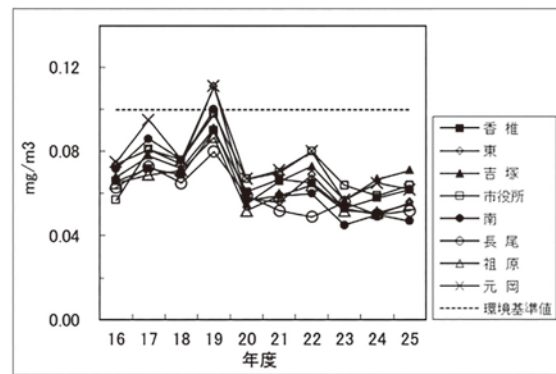
【年平均値の推移(一般局, 自排局)】



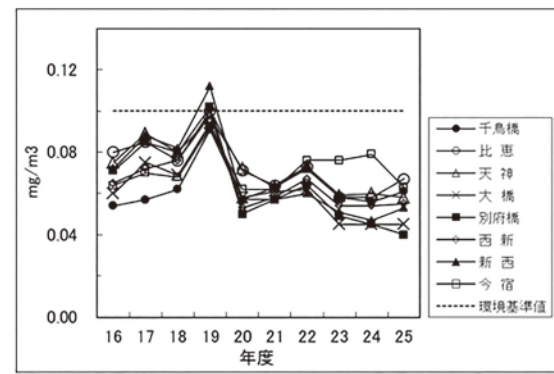
<環境基準の評価>
 以下条件を満たしている場合
 環境基準「達成」
 1年間の日平均値のうち、低い方から98%の範囲に
 ある日平均値(日平均値の98%値)のうち一番高い
 値が環境基準値を超えていない。

③ 浮遊粒子状物質

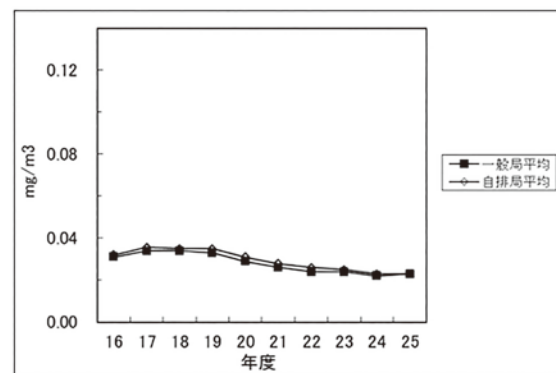
【日平均値の2%除外値の推移(一般局)】



【日平均値の2%除外値の推移(自排局)】



【年平均値の推移(一般局, 自排局)】



<環境基準の評価>
 以下条件を満たしている場合
 環境基準「達成」
 ① 1年間の日平均値のうち高い方から2%にあたる
 部分を除いた後の一番高い日平均値(日平均値の
 2%除外値)が環境基準値を超えていない。
 ② 日平均値が環境基準値を2日以上連続して超えて
 いない。

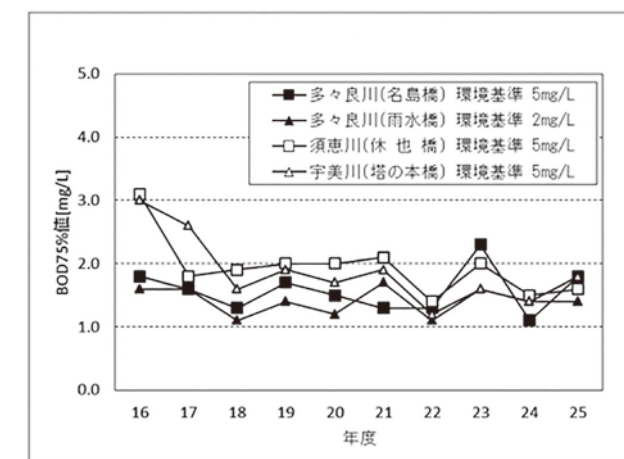
(2) 水環境



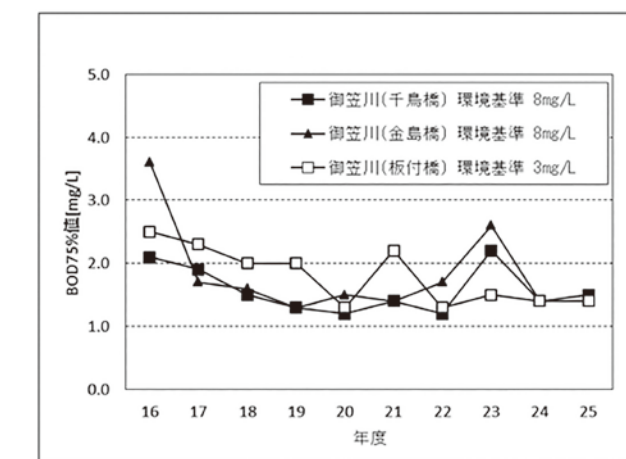
福岡市内河川及び博多湾の調査地点

【主要河川BOD75%値の推移】

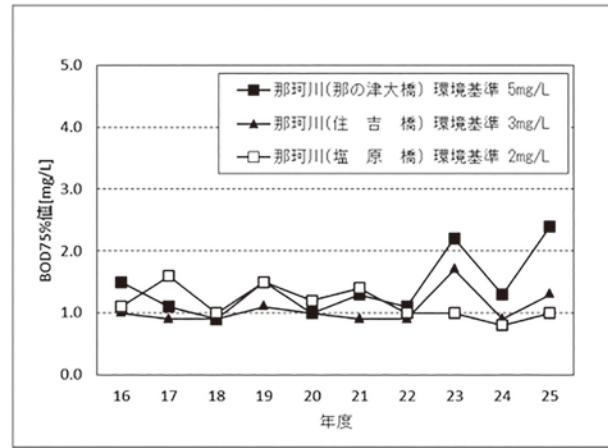
① 多々良川水系



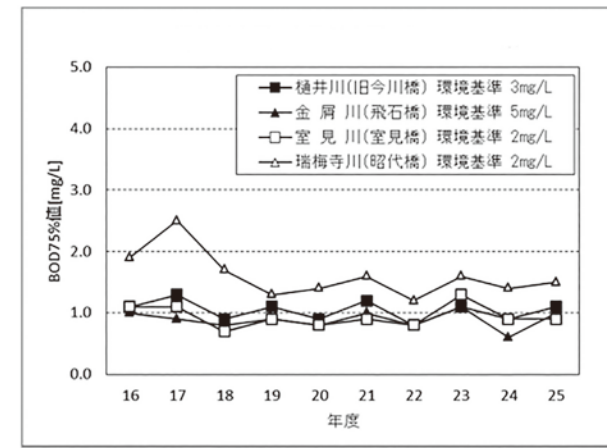
② 御笠川水系



③那珂川水系



④樋井川水系、室見川水系、瑞梅寺川水系

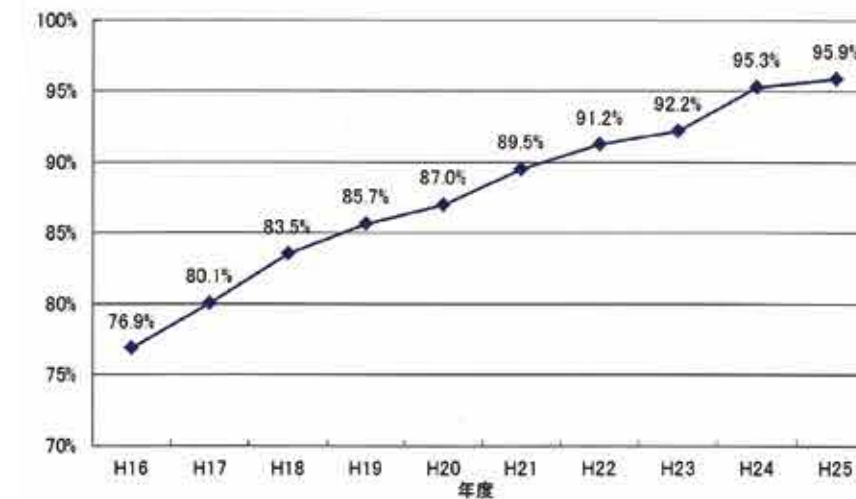


(3)音環境

【自動車騒音面的評価結果】

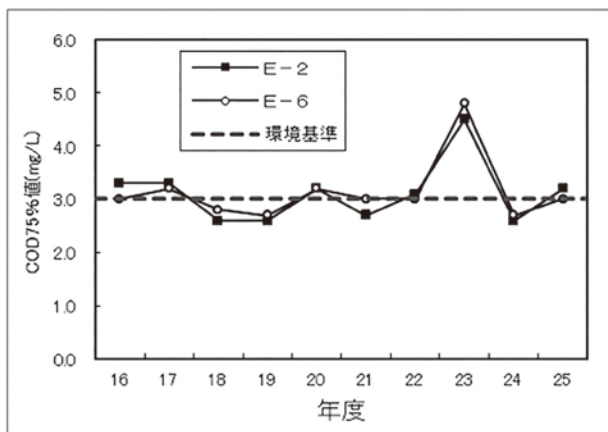
		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
昼夜とも基準値以下	戸数	53,748	100,091	135,031	164,755	183,678	190,226	194,993	198,731	178,738	189,497
	割合	76.9%	80.1%	83.5%	85.7%	87.0%	89.5%	91.2%	92.2%	95.3%	95.9%
昼のみ基準値以下	戸数	6,778	13,331	14,189	15,811	15,884	14,228	12,447	10,522	4,732	4,135
	割合	9.7%	10.7%	8.8%	8.2%	7.5%	6.7%	5.8%	4.9%	2.5%	2.1%
夜のみ基準値以下	戸数	0	287	233	237	230	253	49	67	101	264
	割合	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%
昼夜とも基準値超過	戸数	9,380	11,314	12,197	11,551	11,328	7,732	6,219	6,162	3,901	3,626
	割合	13.4%	9.0%	7.5%	6.0%	5.4%	3.6%	2.9%	2.9%	2.1%	1.8%
総戸数		69,906	125,023	161,650	192,354	211,120	212,439	213,708	215,482	187,472	197,522

【自動車騒音の環境基準達成率(昼夜とも)】

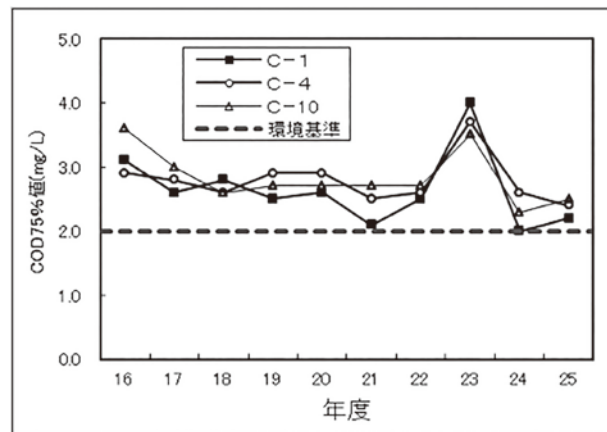


【博多湾COD75%値の推移】

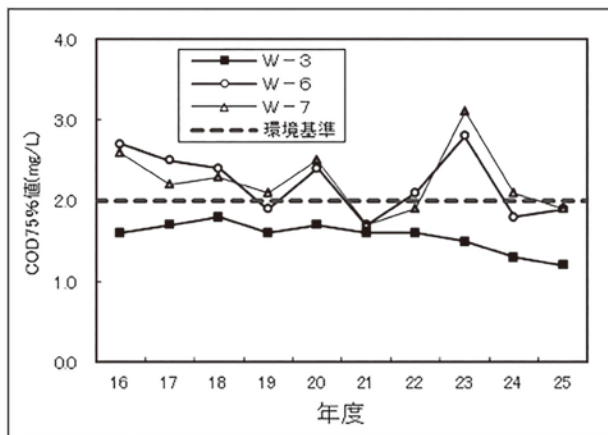
①東部海域



②中部海域



③西部海域



<BOD、CODの環境基準の評価>

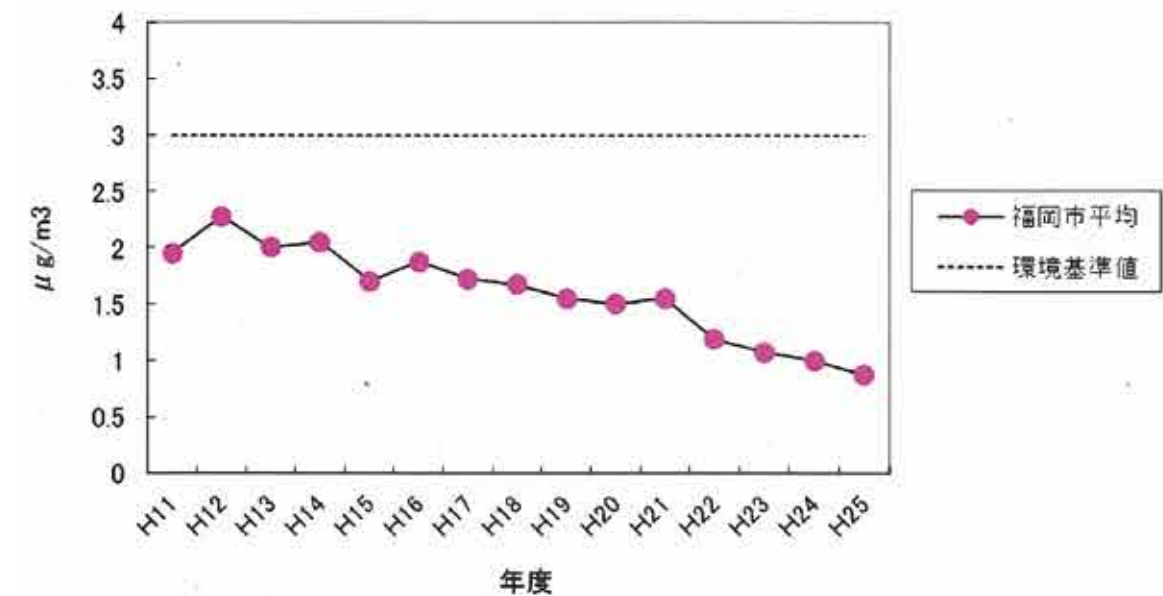
以下の条件を満たしている場合
環境基準「達成」

年間を通じた日間平均値の全データのうち、その値の小さい方から0.75×n(nは日間平均値のデータ数)番目のデータ値(75%値)が基準値を超えていない。

(4)化学物質

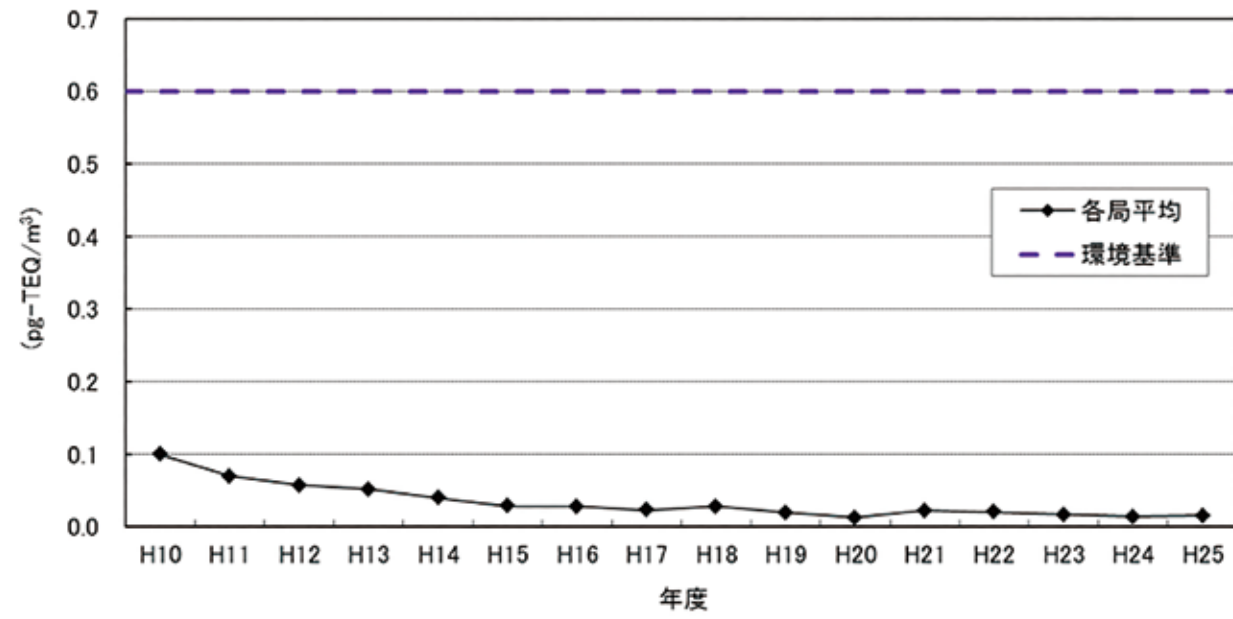
【環境大気中ベンゼン濃度の推移】

環境大気中ベンゼン濃度の推移(年平均値)

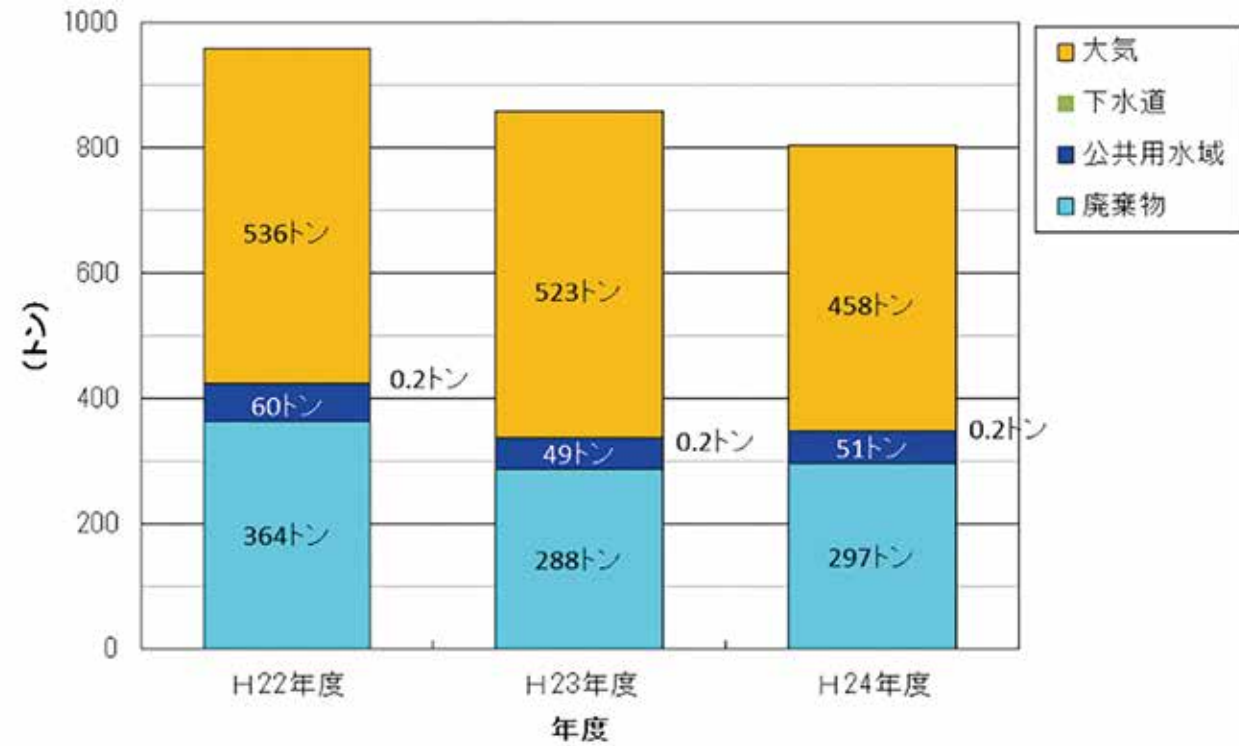


【一般環境大気ダイオキシン類濃度の推移】

一般環境大気ダイオキシン類濃度の推移



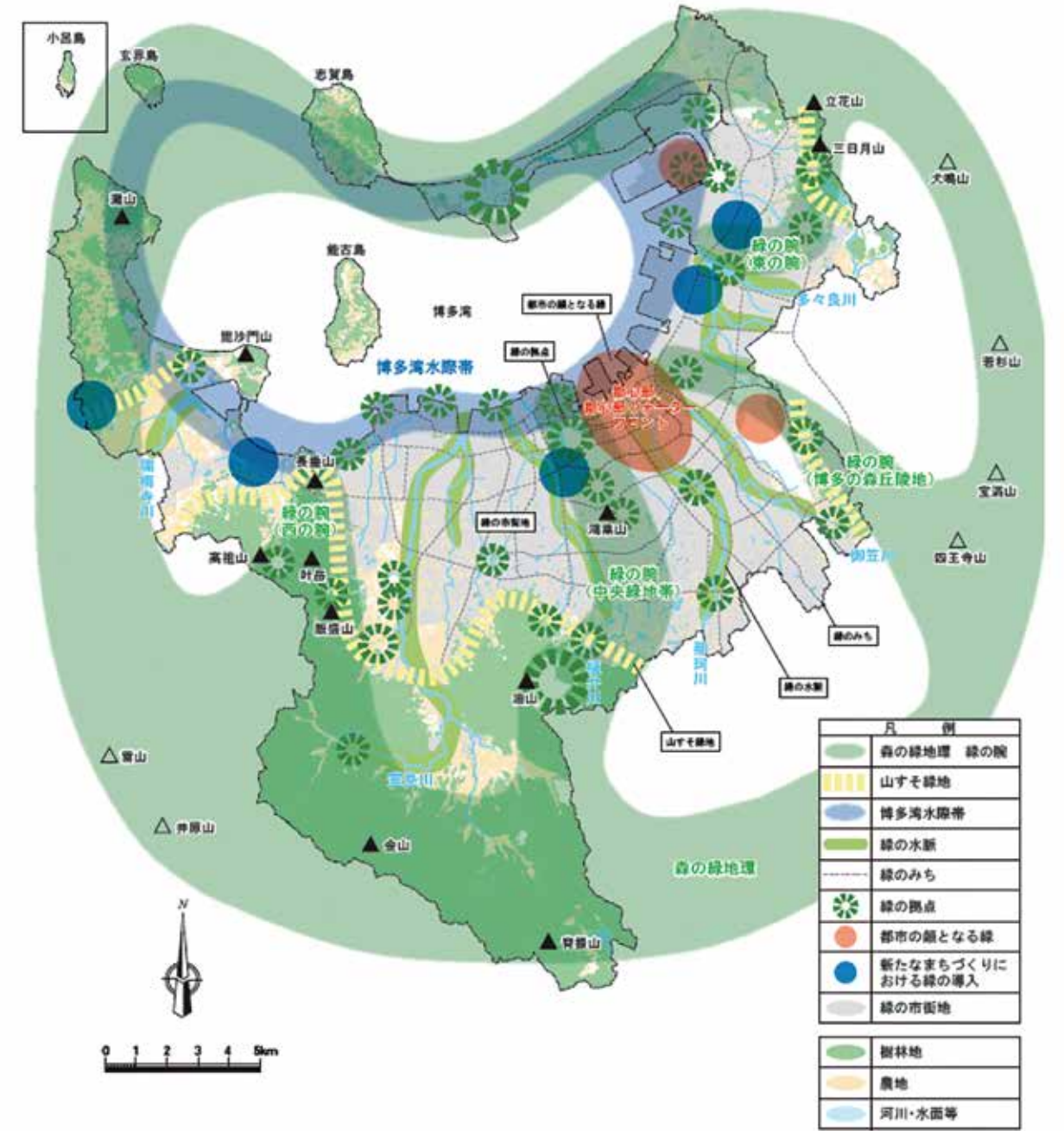
【PRTR法に基づく特定化学物質の届出排出量・移動量の経年変化】



3. 自然環境等の状況

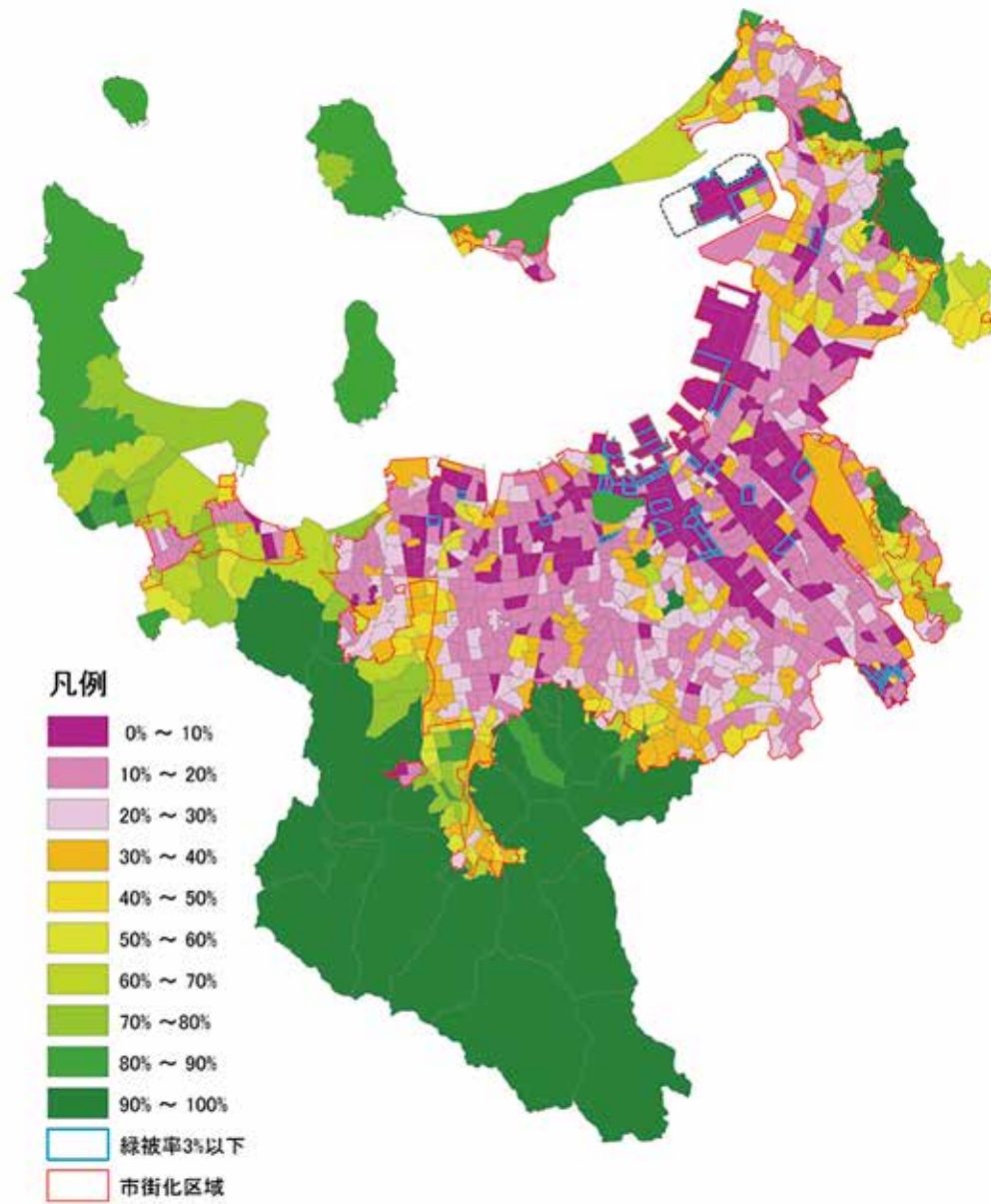
(1) みどり等

【緑の将来像図】



出典:「福岡市新・緑の基本計画」(2009(平成21)年、福岡市)

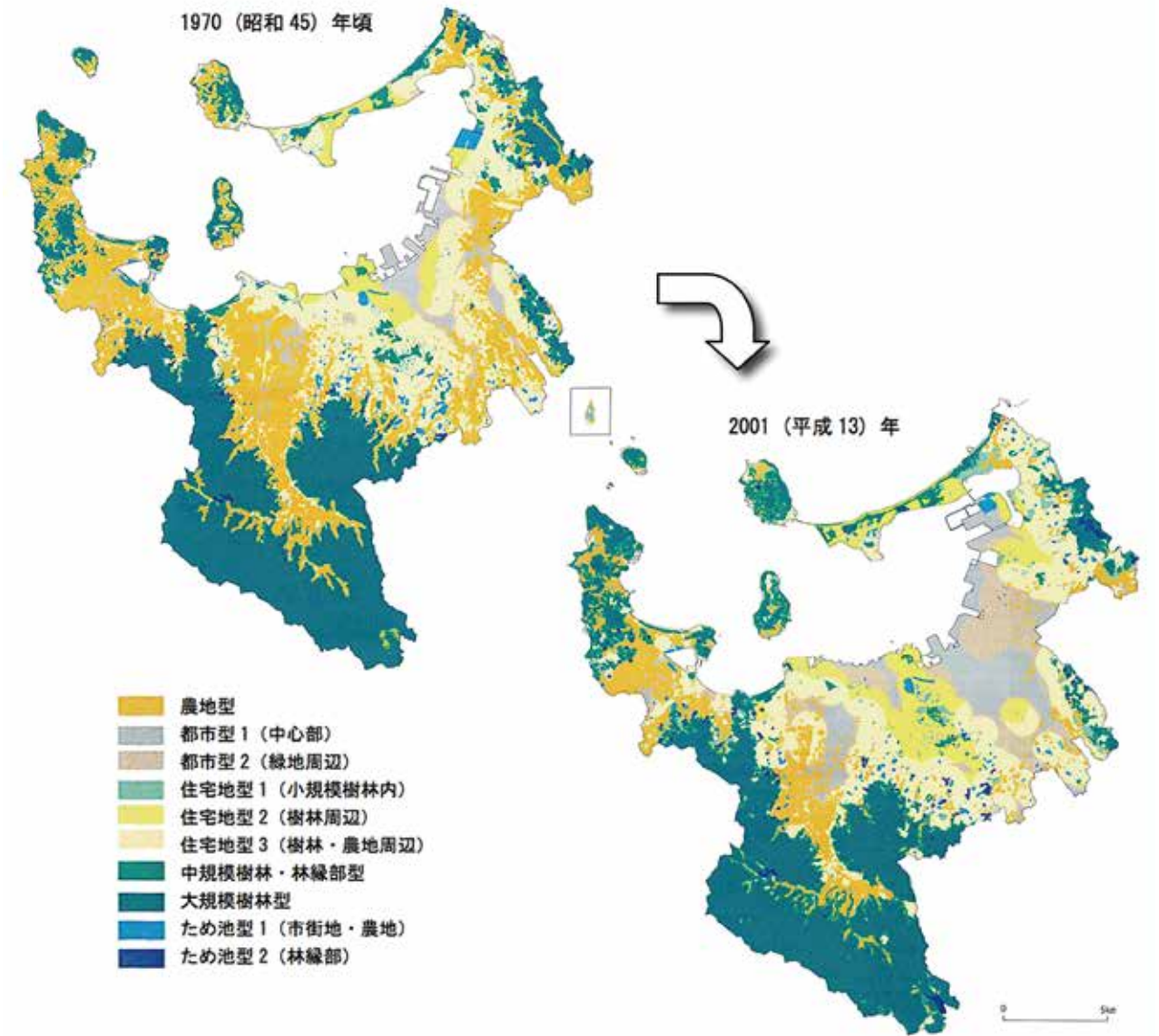
【町丁目別緑被率-2007(平成19)年】



出典:「福岡市新・緑の基本計画」(2009(平成21)年、福岡市)

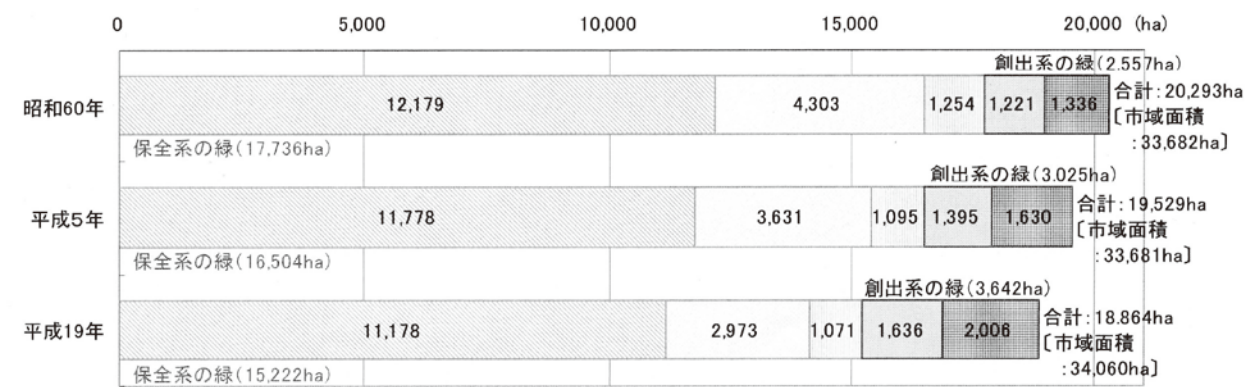
(2)生きもの

【生物生息空間地図】



出典:「平成15年度市域生態系調査業務委託報告書」(2004(平成16)年、福岡市)

【全市域の緑の量の変化】



出典:「福岡市新・緑の基本計画」(2009(平成21)年、福岡市)

【カブトガニ産卵調査:平成25年度調査結果と過年度調査結果の比較】

実施年度	四所神社			瑞梅寺川河口	江の口川河口	備考
	休憩所南側	休憩所北側	合計			
H18	3	3	6	7	9	H18.8.23
H19	9	4	13	-	-	H19.9.7
H20	2	1	3	-	-	H20.9.13
H21	9	0	9	-	-	H21.9.5
H22	12	1	13	4	12	H22.9.23(神社)／9.6(河口)
H23	8	5	13	-	-	H23.9.10
H24	8	4	12	5	10	H24.9.14(神社)／9.13(河口)
H25	7	9	16	12	11	H25.9.6(神社)／9.4(河口)

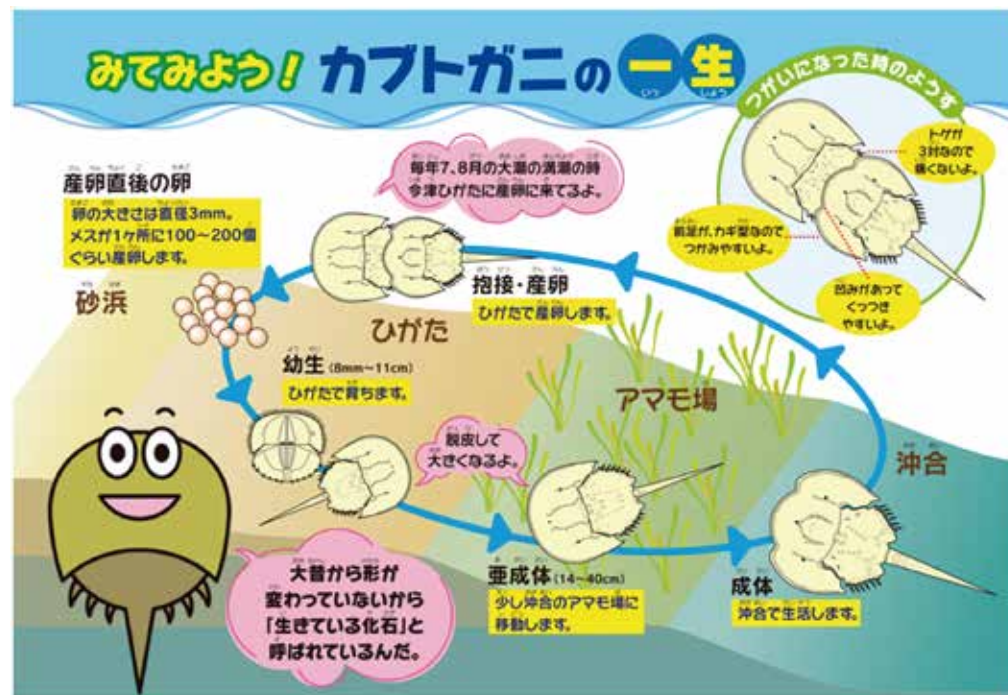
注) -は調査を実施無しを示す。

【カブトガニ幼生調査:平成25年度調査結果と過年度調査結果の比較】

実施年度	四所神社			瑞梅寺川河口	江の口川河口	備考
	休憩所南側	休憩所北側	合計			
H18	13	31	44	0	0	H18.9.6
H19	-	-	-	-	-	-
H20	-	-	-	-	-	-
H21	9	7	16	-	-	H21.9.4
H22	-	-	-	-	-	-
H23	18	18	36	-	-	H23.9.10
H24	33	30	63	16	3	H24.9.15(神社)／9.13(河口)
H25	39	42	81	2	6	H25.9.5(神社)／9.4(河口)

注1) -は調査を実施無しを示す。

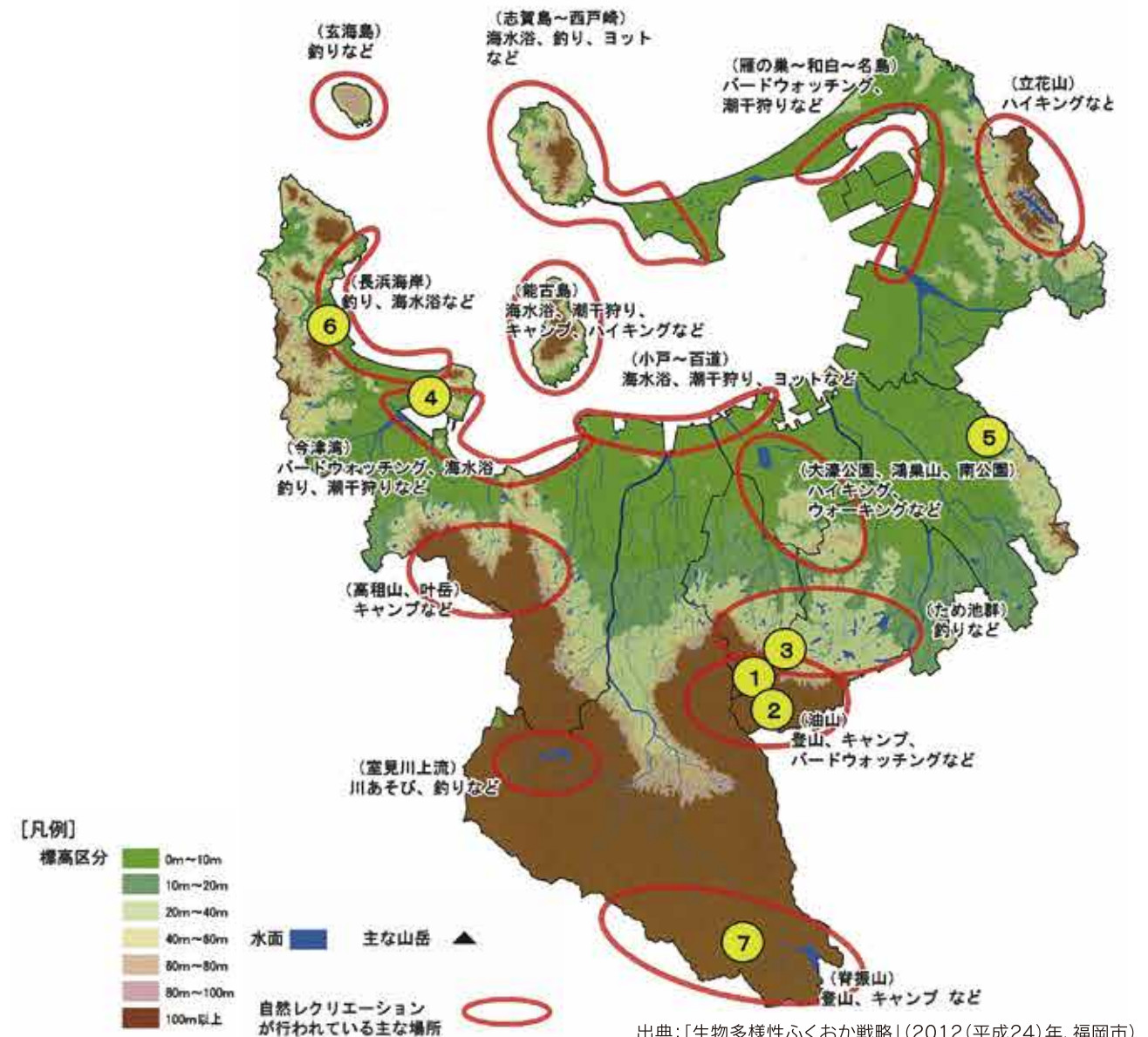
注2) 休憩所北端を境界として、北側の測線を北側、南側の測線を南側として集計した。



出典:ふくおかのカブトガニ

(3)自然とのふれあい

【自然レクリエーションが行われている主な場所】



出典:「生物多様性ふくおか戦略」(2012(平成24)年、福岡市)

①油山市民の森(福岡市南区桧原855-4)

ハイキングや四季の自然を楽しむレクリエーションの場として、油山登山の起点としても愛されています。また、キャンプ場、アスレチック施設や展望台などに加え、自然観察の森での生きものや植物などの自然観察も好評です。

②油山牧場(福岡市南区大字柏原710-2)

搾乳体験や乗馬体験など各種体験イベントなど、遊べる、学べる体験プログラムが充実しています。

③花畑園芸公園(福岡市南区柏原7丁目571-1)

果樹を中心に様々な園芸作物の総合的な実験展示と、園芸相談や園芸講座をとおして皆様の園芸知識や技術の向上を図り、広大な敷地に芝生広場や四季の花木を配した、自然に親しめる憩いの場としての都市公園です。収穫の季節にはみかん等のもぎ取り体験もできます。

④今津リフレッシュ農園(福岡市西区今津5685)

広い敷地でのんびり耕作、広い芝生広場もあります。苺の摘み取りやジャガイモ・玉ねぎなどの収穫体験もできます。

⑤立花寺緑地リフレッシュ農園(福岡市博多区立花寺2丁目9-15)

空港のそばで便利な農園です。芝生広場や遊具、せせらぎのある公園もあり、クラブハウスの農産物直売所「味菜」が人気です。

⑥福岡市海づり公園(福岡市西区大字小田字池ノ浦地先)

海上沖386mのT字型鋼製釣り桟橋です。真鯛釣堀では豪快な真鯛釣りが体験できます。また、初心者の方には、釣り方や仕掛け作りの指導を行っています。

⑦背振少年自然の家(福岡市早良区板屋530)

福岡市の南西、脊振山の中腹で、周辺には金山、鬼ヶ鼻岩、蛤岳、九千部山などの山々が連なる、豊かな自然に恵まれたところにあり、自然とのふれあいを通して、こども達の豊かで、たくましい心身を育てることを目的とした青少年教育施設です。

3. 都市環境の状況

(1) 土地利用状況

●福岡市の都市構造は、Y字型をなしており、天神・博多駅等の中心部に商業・業務施設が集積しており、土地利用状況(平成24年調査)は以下のとおりです。

【土地利用の状況】

(単位:%)

住宅地	商業・業務地	工業・流通業務地	公園・緑地,道路等	農地	森林	河川,水路,空地等
21.0	5.2	4.6	20.6	7.7	32.9	8.0

- ・商業・業務地 : 商業、業務、宿泊、娯楽・遊技、公共業務
- ・工業・流通業務地 : 運輸、供給処理、工業
- ・公園・緑地、道路等 : 公園・緑地、道路、軌道敷、文教、医療、厚生
- ・河川、水路、空地等 : 河川・水面・水路、海浜、空地、農林漁業施設、その他

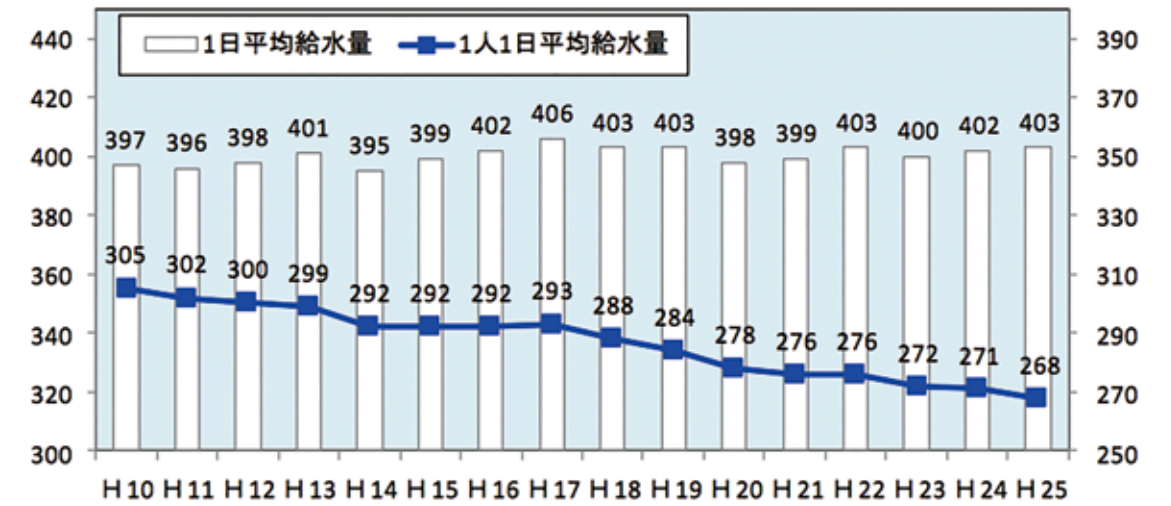
●都市計画に基づく地域指定の状況は平成26年3月現在、都市計画区域34,008ha、うち市街化区域が16,267ha(47.8%)、市街化調整区域が17,741ha(52.2%)となっています。また、市街化区域における用途地域の指定状況は以下のとおりです。

【用途地域の状況(平成26年3月現在)】

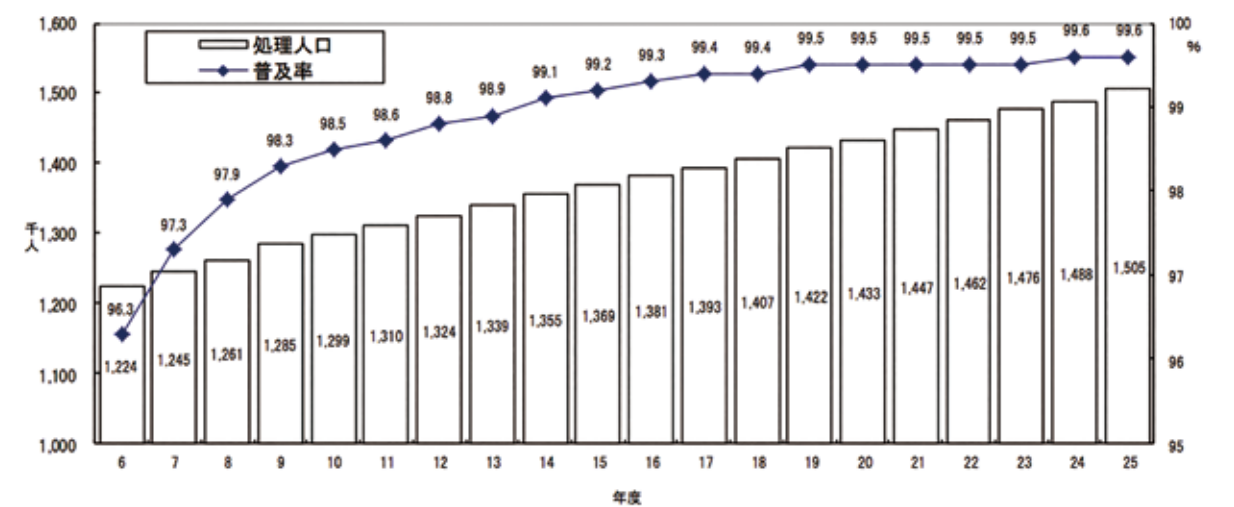
用途地域	面積(ha)	構成比(%)
第一種低層住居専用地域	4,085	25.1
第二種低層住居専用地域	10	0.1
第一種中高層住居専用地域	2,402	14.8
第二種中高層住居専用地域	345	2.1
第一種住居地域	3,372	20.7
第二種住居地域	1,532	9.4
準住居地域	166	1.0
近隣商業地域	331	2.0
商業地域	1,471	9.1
準工業地域	1,936	11.9
工業地域	574	3.5
工業専用地域	43	0.3
計(市街化区域)	16,267	100.0

(2) 上下水道

【上水道の1日平均給水量及び1人1日平均給水量】



【下水道処理人口及び普及率】



(3) 交通

【自動車登録台数の推移】

(単位:台)

区分	昭和40年度	昭和50年度	昭和60年度	平成7年度	平成17年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
乗用自動車	30,165	128,089	233,049	389,356	437,854	425,994	425,082	424,082	426,434	428,954
貨物自動車	39,825	70,015	81,679	87,636	71,033	64,705	62,214	60,486	59,365	58,248
乗合自動車	3,092	3,480	2,471	2,479	2,481	2,498	2,449	2,365	2,403	2,442
特殊/大型特殊	1,564	5,161	6,544	10,322	12,962	12,083	11,821	11,664	11,720	11,764
軽自動車	21,869	43,511	71,629	108,273	136,340	155,066	160,585	165,455	169,420	177,360
計	96,515	250,256	395,372	598,066	660,670	660,346	662,151	664,052	669,342	678,768
対昭和40年度比	1	2.6	4.1	6.2	6.8	6.8	6.9	6.9	6.9	7.0